



カトリーヌ
(フランスからの留学生)

クラブの部長。言葉の知識はピカー。
するどい質問で、
先生をたじたじにさせる。



和戸一太郎先生
(言葉クラブの顧問)

子どものころから「言葉」について
興味を持ち、研究を続けている
やさしい先生。



シューイン (秀英)
(中国からの留学生)

ひょうきんでやさしいけれど、
かなりのんきな性格。
言葉の知識もなかなかのもの。



ジョン
(アメリカからの留学生)

言葉についてはくわしいが、
ときどき知ったかぶりをして、
みんなをあきれさせる。



※本文に出てくる「国の調査」とは、文化庁が実施している「国語に関する世論調査」のことです。

天地無用



意味と解説

「天地無用」というのは、「ひっくり返してはいけない」という意味の言葉。荷物の外側に、よくシールで貼ってあるよね。けれど、ジョンやシューインみたいに、「ひっくり返しても平気」と思いこんでいる人がけっこう多いんだ。まったく逆の意味なのにね。

使い方

この荷物には、「天地無用」のシールが貼ってあるから、そっと運ぼう。



ジョン
だって、「天地」ってのは、「上」だろって。それに「無用」ってのは、「する必要はない」ってじゃないか。だから、「上も下も気になくていい」って意味じゃないの？



シューイン
なるほど。「心配無用」といったら、「心配する必要はない」。「問答無用」といったら、「話の必要はない」ってことだから。ジョンの言うとおりかも。



先生
たしかに二人の言うとおり。「天地」は「上下」。「無用」は「する必要がない」ということだ。ただし、「無用」にはこんな意味もあるんだ。「ほかの語についでしてはつけられない意味をあらわす」(大辞林)



カトリヤ
そついでには、扉に「さへがき無用」って貼紙を貼っている家があるわ。



シューイン
それって「さへがき無用」ってのは「さへがき無用」ってことですよ。葉で、まったく逆の意味があるんですよ。おもしろいです。

読み方をまちがえやすい慣用語

頭をめぐるす ↓ じつづをめぐらす

孫子の代 ↓ まじじの代

一日の長 ↓ いちじつひの長

身を粉にして ↓ 身をじついで

金のわらじ ↓ かねのわらじ

登竜門 ↓ とうりゅうもん

この期におよんで ↓ このじにおよんで

黒白をつける ↓ こくびやくをつける

堂に入る ↓ 堂にいる

職人氣質 ↓ しょくにんかたぎ

歯に衣着せぬ ↓ 歯にきぬ着せぬ

間髪を入れず ↓ かんはつを入れず

他人事 ↓ ひとこと

古文書 ↓ 古もんじょ

使い方の 思いちがい



汚名挽回↓汚名返上



使用方の解説

「汚名(おんめい)悪い評判(どうほう)、不名誉(ふめい)、挽回(わんがい)の「挽回(わんがい)する」というのは、「取りもどす」「ごうごう」。だから「汚名を挽回(わんがい)する」というのは、「汚名を取りもどす」ということになっちゃう。汚名(おんめい)な名目(なご)ものは、「返上(へんじやう)するもの」。挽回(わんがい)するのじゃない。つまり、「使い方は」「汚名を返上(へんじやう)」の間違い。ただ、「汚名挽回(おんめいおんめい)」は「汚名を受け取る前の状態(ぜんぜん)にもどす」という解釈もあるのよ。まちがいではないという説(せつ)もあるよ。

正しい用例

今回のテストは、うっかりミスが多くて三十点(さんじゅうてん)だった。次のテストではきつと汚名返上(おんめいへんじやう)するぞ。

思いもつかない↓思いもよらない



使用方の解説

ジョンしたら、「二度(にど)も同じ(おな)まちがいをして。」思いもつかない「なんていう言葉(ことば)はないのよ。」「思いもつかない」という言い方(かた)はあるけど、「思いもつかない」という言い方(かた)はないの。だから、ジョンが言(い)った「思いもつかない」というのは「考え(かんが)えが浮か(う)かばない」という意味(いみ)だから、「いい方法(はつぱう)が思いもつかない」のよ。」「使用(しよう)方の説明(せつめい)もあってるわね。」

正しい用例

あんなに晴(は)れていたのに、こんなにすこい雨が降(ふ)るなんて、思いもよらない天気(てんき)になったもんだ。

へたな考え休むに似たり ↓ へたの考え休むに似たり

例外にもれず ↓ 多分にもれず

武士は食わねどつまみづじ ↓ 武士は食わねどたかみづじ

老体にむち打つ ↓ 老骨にむち打つ

鳥合の集団 ↓ 鳥合の衆

類は類を呼ぶ ↓ 類は友を呼ぶ

馬の耳にも念仏 ↓ 馬の耳に念仏

縁は奇なもの ↓ 縁は異なもの

舌の先が乾かぬうちに ↓ 舌の根が乾かぬうちに

生き馬の目をむく ↓ 生き馬の目を抜く

どこのか へんだぞ、 この日本語



きょうももらったおごつが、半分くらい募金しようかな。



解説

あなたも募金したことありますか？ たえば赤い羽根共同募金とか。



「はい、ありますー」って、手をあげた人がいたら、それはすごいことです。だって「募金」っていうのは、寄付金などをつのって集めること。「つまり、寄付金を集める活動をするってなんですか。お金を渡すっていうのは「寄付する」っていうんです。ですから、正しい好「きょうももらったおごつが、半分くらい寄付しようかな」っていうんですよ。街頭で「共同募金をお願いします」ってがんばっている人たち。正しい使い方ではないけれど、真心は伝わってきますね。

明日の試合は、ぼくにどつて、いっせいちだいの大勝負だ。がんばるぞー！



解説

「家を建てるのは、一世一代の大仕事です」なんていうコマーションルを見たことがないかな？ 「一世一代」っていうのは、「一生に一度あるかないかの、大きなできごと」のことだ。「二世」っていうのは、役者が引退するときに最後に演じる晴れ舞台のこと。この場合は「いっせ」って読むのが正しいんだぞ。とこうついで、例文の使い方自体は、まちがってはいないんだけど、「いっせいちだいの」って言ってほしかったんだ。おしかったな。だから、「明日の試合は、ぼくにどつて二世一代の大勝負だ。がんばるぞー」といえばよかったんだ。こつこつ読み方の思いがちがいつけつこうあるもんなんだ。



あ

愛慕をふりまく……………90
 愛慕をふりまく……………90
 合の手を入れる……………91
 合の手を打つ……………91
 足もとをすへられる……………93
 足をすくわれる……………93
 足をまめる……………111
 あへおわびます……………92
 後へも先へも上げぬ……………94
 後へも先へも上げぬ……………94
 いづれぬ……………70
 いきたない……………80
 怒り心頭に達す……………117
 怒り心頭に達す……………117
 痛くもなご腹をなひひらひら……………16
 ころころ……………110
 ころころ……………110

う

上へ下への大さわぎ……………100
 上を下への大さわぎ……………100
 うがった見方……………8
 浮き足立つ……………10
 雨後の竹の子(節)……………84
 うす紙をはく……………101
 うす紙をはく……………101
 裏の腰……………44
 うらみ骨髄に達する……………105
 うらみ骨髄に徹する……………105
 上前をかすめる……………102
 上前をはねる……………102
 うんちくを懐ける……………22
 え……………96
 枝もたわに……………96
 おおなり……………12
 押しも押されぬ……………104
 押しも押されぬ……………104

か

汚い返上……………106
 汚い返上……………106
 思いもつかない……………107
 思いもつかない……………107
 思いもたらない……………107

こ

くしの歯が欠けたよう……………116
 くしの歯がぬけたよう……………116
 喜ばなすむ……………20
 こ……………86
 号泣する……………18
 姑息……………103
 言葉をつたす……………103

き

外国人……………60
 外人……………60
 膝を下ろし……………14
 膝を下ろし……………14
 過半数に達する……………109
 過半数に達する……………109
 過半数を超えぬ……………109
 過半数を超えぬ……………109
 膝をまめる……………111
 期待だおれ……………114
 期待はすれ……………114
 脚光を集める……………115
 脚光を集める……………115
 脚光を浴び……………115
 脚光を浴び……………115
 極めつき……………99
 極めつき……………99
 極めつけ……………99

し

采配をふる……………76
 し……………24
 失笑……………24
 しめやか……………54
 しめやか……………54
 上座(座)の風(の)……………64
 上座(座)の風(の)……………64
 初老……………82
 初老……………82
 白羽の矢が当たる……………118
 白羽の矢が当たる……………118
 白羽の矢が立つ……………118

せ

采配をふる……………76

く

くしの歯が欠けたよう……………116
 くしの歯がぬけたよう……………116
 喜ばなすむ……………20